

令和 7 年定例会

政策企画雇用経済観光常任委員会
所管事項説明資料

◎ 所管事項説明

- (1) 若者のUターン就職促進について . . . 1
- (2) 「三重県太陽光発電施設の適正導入に係るガイドライン」の改定（中間案）
について . . . 5
- 別紙
別冊
- (3) 大阪・関西万博における三重県の取組実績について . . . 7
- (4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について . . . 15
- (5) 各種審議会等の審議状況の報告について . . . 19

令和 7 年 12 月 12 日

雇用経済部

(1) 若者のUターン就職促進について

本県では、令和6年の転出超過数の約8割を15～29歳の若者が占めるなど、若者の県外流出が続いており、県内企業においては、新卒者を中心とする人材の確保が困難な状況になっています。

このため、学生の就職活動に関する価値観やニーズ等を的確に把握しつつ、県内企業情報や三重で暮らし働く魅力を効果的に伝えていくことなどにより、県外に進学した学生の三重県へのUターン就職を促進する取組が求められています。

1 学生に向けた取組

(1) これまでの取組

県外大学に進学した三重県出身の学生のUターン就職を促進するため、県外の28大学と就職支援協定を締結し、就職支援情報を提供しています。

一方で、コロナ禍以降、学生の就職活動はオンライン化が定着しているとともに、就職先を決定する際に、保護者の意見を重要視する傾向があるため、これらに対応する取組を推進しています。

① 就職支援協定締結大学との連携

- ・ 県外の28大学と就職支援協定を締結（令和7年10月末現在）
- ・ 大学キャリアセンターを通じた県取組等の積極的な情報発信（月に1回メルマガを配信）
- ・ 学生向け就職説明会における県内就職支援情報等の提供と個別相談対応（11校：11月末現在）

② 就職活動のオンライン化への対応

- ・ 「おしごと広場みえ」における就労サービスのオンライン化
- ・ オンライン合同企業説明会の開催（全4回開催：33社、求職者延べ387人が参加）

③ 情報発信の強化

ア 学生向け

- ・ 県が運営する各種就職情報サイトでの情報発信（みえの仕事さがし ch.、みえの企業まるわかり NAVI、みえの仕事マッチングサイト等）

イ 保護者向け

- ・ 保護者向け説明会における県内就職支援情報等の提供と個別相談対応（7校：11月末現在）
- ・ 保護者等を対象とした県内企業との交流機会の創出（県内大型商業施設内で交流会開催：全3回、20社、保護者等延べ93人参加）
- ・ 保護者に対する学生向け就活イベント案内ハガキの送付（1校：11月末現在）

(2) 今後の取組

さらなるUターン就職の促進を図るため、三重県出身学生の多い中京圏・関西圏における取組を強化します。

具体的には、中京圏・関西圏の就職支援協定締結大学への訪問機会を増やし、三重県出身学生の就職活動状況や大学側が県内企業や行政機関に求めるニーズ等を把握するとともに、学生向け就職説明会やU・Iターン就職に関するアンケート調査を通じて、学生の価値観やニーズを的確に把握します。そのうえで、学生やその保護者へ県内企業情報等を効果的に発信していきます。

さらに、県就職情報サイトと大手就職情報サイトとの連携を進め、県就職情報サイトに掲載されている県内企業の情報が、より多くの学生の目に触れる機会を増やしていきます。

2 企業に向けた取組

(1) これまでの取組

県が実施した県内企業向けアンケートによると、採用の際の課題として「募集のためのノウハウ・人材不足」をあげている企業が一定割合あり、採用力強化に対する支援が求められています。

また、学生は就職先を選択する際に「働きやすさ」等を重視する傾向がみられるため、県内企業における働き方改革の取組を促進しています。

① 採用力の強化

- ・県内中小企業等の経営者や採用・人事担当者等を対象に、採用力向上をテーマとしたセミナー・連続勉強会の開催
(セミナー：全3回開催予定のうち2回開催済：49社が参加
連続勉強会：全3回開催：30社が参加)
- ・県内中小企業等の経営者や採用・人事担当者等を対象に、インターンシップ等の受入促進を目的とするセミナーの開催
(全3回開催予定のうち2回開催済：27社が参加)
- ・インターンシップの受入環境の整備に向けて県内中小企業等へ専門家を派遣(5社に派遣済：11月末現在)
- ・県内中小企業等を対象に、採用や採用広告に関する専門アドバイザーを派遣(17社に派遣中：10月末現在)
- ・アドバイザー派遣を受けた県内中小企業等が「都市圏における合同企業説明会」へ出展する際の出展料を補助
(3月に名古屋・大阪で開催：3社出展予定)

② 若者等に選ばれる働きやすい職場づくり

- ・働き方改革を推進する県内中小企業等を登録・表彰するとともに、登録企業の働きやすさを学生に発信
(登録企業 380 社 (令和 7 年 10 月に新たに 185 社登録))
- ・県内中小企業等にアドバイザーを派遣し、休みやすい職場づくりや女性がいきいきと働ける職場づくりなど企業の状況に応じた取組を支援 (9 社)
- ・柔軟に働き続けられる職場づくりにつなげるため、短時間正社員制度の導入・活用に関するモデル企業の創出 (3 社) と創出事例の横展開
- ・働き方改革のさらなる取組を後押しするため、働き方改革推進奨励金を支給 (今年度から短時間正社員制度等活用促進コースを新設)

(2) 今後の取組

学生等から選ばれる魅力的な県内企業を増やすため、引き続き県内企業に対して、採用力の向上や働き方改革の推進に向けた取組を行うとともに、企業情報や働きやすさをアピールするため、県就職情報サイトへの登録を積極的に働きかけていきます。

(2)「三重県太陽光発電施設の適正導入に係るガイドライン」の改定(中間案)について

1 改定趣旨

近年、再生可能エネルギーの急速な導入拡大に伴い、安全面、防災面、景観、生物多様性の観点を含めた環境への影響等に対する地域の懸念が全国的に発生するなど、太陽光発電施設の適正導入の重要性は高まっています。

本県においては、太陽光発電施設に関して、県民からは、事業者からの説明がないなどコミュニケーション不足や、柵や標識の不備など維持管理面での不安の声が依然として多い状況です。

その声の多くは、現行ガイドラインで対象外としている施設に関するものであり、市町からも対象拡大への要望があることから、県においては、それら事業者の実態把握や適正導入の促進が喫緊の課題となっています。

こうした状況をふまえ、早急に対処すべき事項について現行ガイドラインで不足する点を充実強化するなど所要の改定を行い、安全安心な県民の暮らしや自然環境と調和がとれた太陽光発電施設の更なる適正導入を進めることとします。

※概要版(中間案)は別紙のとおり

※本 冊(中間案)は別冊のとおり

2 改定のポイント

(1) 適用範囲の拡大

[概要版は「4」、本冊は P4~P5 を参照]

現行ガイドラインの適用対象(FIT/FIP、50kW以上)に以下の施設を追加します。

①非FIT(※1)/非FIP(※2)の追加

②出力規模(下限)の拡大[10kW以上、50kW未満の施設追加]

(※1) FIT…再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力等)を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付ける制度。

(※2) FIP…FIT制度のように固定価格で買い取るのではなく、再エネ発電事業者が卸市場などで売電した時、その売電価格に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せすることで再エネ導入を促進する制度。

(2) 地域住民とのコミュニケーションの徹底

[概要版は「5(1)」、本冊は P17~P20 を参照]

県民の不安解消や維持管理面でのトラブル防止など、地域との調和の観点から、現行ガイドラインでは定めのない、説明会の開催や協定書の締結にかかる対象や範囲を明らかにします。

(3) 事業者が取るべき措置の明確化

〔概要版は「6」、本冊は P25～P29 を参照〕

安全安心な県民の暮らしや自然環境との調和がとれた太陽光発電施設の設置が進むよう、新たに「地域との共生を図るために事業者を求める対策」の項目を章立てし、県民からの不安が大きい反射光や柵塀、雑草の繁茂、排水等について、事業者を求める予防措置等を明確化します。

(4) 条例化に向けた検討を進める場合の考え方を追記

〔概要版は「最左下」、本冊は P2 を参照〕

条例化に向けた検討を進める場合の考え方として、以下の内容を追記します。

本ガイドラインは、太陽光発電施設に係る国の動向や地域の実情をふまえつつ、不断の見直しを行うものとし、運用する中で、例えば、森林や砂防指定地等において、太陽光発電施設の設置を目的とする開発行為等に起因して、生命、財産に危険を及ぼすような重大な事案のおそれが生じた場合や、ガイドラインに基づく行政指導が守られない事例が積み重なった場合には、条例化の検討を進める。

3 今後の予定

引き続き、各市町や庁内関係部局と必要な議論や調整を行いながら、県議会にも報告するとともに、パブリックコメントを通じて県民や事業者の意見をふまえた結果を反映し、令和8年4月のガイドライン改定をめざします。

なお、住民からの相談対応や事業者からの届出受理などにかかる具体的な運用については、最終案に向けて、引き続き市町と丁寧な協議を行ってまいります。

【スケジュール案】

令和7年12月	県議会常任委員会（中間案）
令和7年12月以降	パブリックコメント（県民・事業者への意見募集） 市町・関係部局への意見照会
令和8年3月	県議会常任委員会（最終案）
令和8年4月以降	ガイドライン改定・施行

（３）大阪・関西万博における三重県の取組実績について

令和7年4月13日（日）に開幕し、10月13日（月・祝）に閉幕した大阪・関西万博において、本県の認知度向上及び観光誘客につなげるための取組を万博会場内外で実施し、本県の魅力を発信しました。

1 関西パビリオン三重県ブースについて

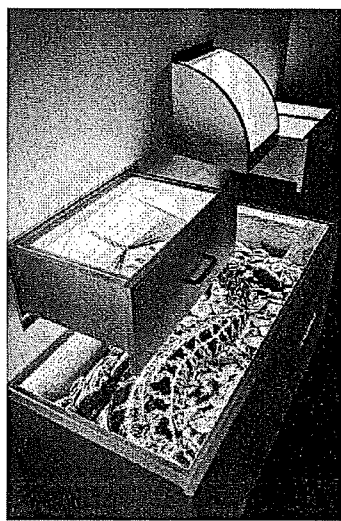
（１）来場者数の状況、来場者の感想

関西パビリオン内に出展した三重県ブースは、184日間の会期中における来場者数が63万2,334人（1日平均3,437人）と、想定を大きく上回りました。

来場者からは、県内29市町の自然や観光地などの映像を映し出した「時のトンネル」や、「美し国みえ体験広場」に設置した触れたり香りを体験できるなどの引き出し型展示、県内各地の注目スポットを背景にした撮影スポットが特に好評を博しました。

◆来場者の感想（一例）

- ・三重県は伊勢エビや松阪牛といったイメージはあったがウナギも有名なことは知らなかった。ぜひ食べに行きたい。（50代男性、関西圏在住）



引き出し型展示



撮影スポット（背景は一定期間ごとに変更）

（２）特別展示の実施

三重県ブースでは、「熊野古道」、「常若」、「歴史・文化」、「自然」、「産業」、「食」と6つのテーマを設けて特別展示を実施しました。

それぞれの展示を目当てに来場される方や、展示替えごとに来場されるリピーターも多く、三重県の魅力をより強く印象づけることができました。

①「イマージブ熊野古道」（熊野古道）：5/10～5/28

- ・巡礼衣装を着て写真を撮れて良かった。素晴らしい日本文化。（50代夫婦、インド在住）

②「内宮正殿鯉木」（常若）：5/29～6/18

- ・鯉木を見たので、絶対に伊勢神宮を訪れたいと思った。（30代家族、関西圏在住）

③「宝刀『村正』」(歴史・文化)：7/1～7/23

- ・村正を見るために来た。展示の面白さも相まってとても楽しめた。(40代女性、関西圏在住)

④「自由の鐘」(自然)：7/24～8/16

- ・ニューヨーク万博から今まで綺麗な状態に保っているのも凄い。今回の万博で見れて運命を感じました。(50代男性、東北地方在住)

⑤「三重の伝統産業」(産業)：8/25～9/25

- ・染物や紐、焼物など初めて知ったものばかり。三重の食は知っているが、伝統工芸品がここまで多くあるとは知らなかった。今度ゆっくり現地に行きたい。(50代女性、首都圏在住)

⑥「海女漁と三重の食」(食)：9/28～10/13

- ・海女さんを一度見てみたかったので、実際に会えてとても嬉しい。パビリオンの中でナンバーワン。(50代夫婦、フランス在住)



特別展示「自由の鐘」



特別展示「海女漁と三重の食」

(3) 市町による魅力発信

三重県ブース内で出展を希望する市町がワークショップなどを開催する機会(各1日)を設けたところ、開始前から参加希望者の行列ができて、終了予定時間前に準備した材料を使い切るなど大変好評で、県内各地域それぞれの魅力を多くの方々に伝えることができました。

①出展市町数：24市町

②出展内容(主なもの)

- ・紀北町(5/7)：尾鷲ヒノキうちわウッドバーニング体験(電熱ペンで絵付け)
- ・伊勢市(6/19)：伊勢根付磨き体験
- ・津市(6/27)：高田本山専修寺の瓦の拓本体験
- ・桑名市(6/29)：デジタルサイネージで本多忠勝の甲冑、千姫の着物着用体験
- ・名張市(8/17)：苔のボトリウム作りと赤目四十八滝トリックアート
- ・伊賀市(8/22)：伊賀焼・伊賀くみひも実演・体験
- ・四日市市(8/23)：工場夜景等のARショー体験
- ・鈴鹿市(8/24)：伊勢型紙・鈴鹿墨ワークショップ

③来場者の感想

- ・日本の伝統工芸のすばらしさを体験できて、今日一番の思い出になった。
- ・出展地域の方と交流できて楽しかった。実際に行ってみたくなった。

④出展市町の感想

- ・1時間以上お待ちいただくことをお伝えしても待ちたい人がいるなど、予想以上に体験希望者が多かった。
- ・体験している伝統工芸の商品はどこで買えるのかという問い合わせもあり、実際に触れてもらったことで魅力が十分に伝わった。



名張市「苔のボトリウム作り」



伊賀市「くみひも体験」

2 万博会場での催事開催について

万博会場内の2箇所において、県庁各部局や市町等と連携しながら、三重の食体験や県産品販売、観光プロモーション等を実施しました。

(1)「美し国彩り三重バザール」

「三重の食体験」をテーマに、県内各地の食文化体験や県産品販売、観光PR等を前期、後期の計2回実施しました。

①開催日：(前期) 令和7年6月30日(月)～7月6日(日)

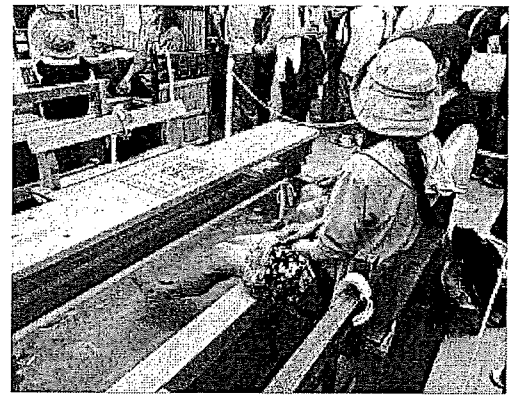
(後期) 令和7年9月2日(火)～9月8日(月)

②会場：関西パビリオン多目的エリア(延べ面積約140㎡)

③来場者数：68,239人(前期：30,271人、後期：37,968人)

④開催時の様子

- ・県産品への関心は高く、特に餅菓子、さんま寿司、カツサンド、真珠製品が好評でした。
- ・9月8日(月)に実施した温泉デーでは足湯が好評で、特に午後からは整理券が早々に配布終了となる盛況となりました。



美し国彩り三重バザール

(2)「～三重のおまつり大集合!～ MIE フェスティバル in EXPO」

「祭り」をテーマに、県内合わせて10の祭事・行事の実演を行うとともに、市町や関係団体、県内事業者がブースを出展して三重の魅力をPRしました。

①開催日：令和7年9月22日（月）

②会場：EXPO アリーナ「Matsuri」（屋外施設、延べ面積約8,400㎡）

③来場者数：13,418人

④出展祭事：くわな石取祭【桑名市】、大四日市まつり大入道【四日市市】、関の山車（やま）【亀山市】、津まつり【津市】、お木曳【伊勢市】、安乗の人形芝居【志摩市】、上野天神祭、勝手（かって）神社の神事踊（しんじおどり）【伊賀市】、きほく燈籠祭【紀北町】、尾鷲ヤーヤ祭り【尾鷲市】

⑤開催時の様子

10の祭事が順に実演を披露して、各祭事の趣きや迫力を来場者に堪能いただくとともに、県内各地の祭事関係者が交流する機会となりました。

また、ブース出展では地酒やウイナーソーセージの販売が好評でした。

⑥来場者の感想

- ・すごい迫力だった。実際に現地で見たい。（60代男性・関西圏在住）
- ・様々な祭りやブースがあり三重県を満喫できた。（30代女性・関西圏在住）

⑦参加者の感想

- ・準備は大変だったが大成功だった。（祭事関係者）
- ・世界的な万博という催事に参加できて良い経験になった。（物販関係者）



三重のおまつり大集合～MIE フェスティバル in EXPO

3 校外学習支援について

大阪・関西万博は、次代を担う子どもたちにとって、SDGs や世界の文化等を学ぶ絶好の機会であることから、希望する学校等に対して入場チケット代（小中学校 1,000 円、高校 2,400 円）全額を支援しました。

会期中、73 校（生徒数：15,580 人）が万博会場に来場し、国内外のパビリオンを見学することで、世界の文化や最先端の技術などへの興味・関心を高める機会を提供しました。

◆支援の概要

①来場学校数：73 校 ※対象 625 校中の 11.7%が来場

②来場校内訳：小学校 15 校、中学校 33 校、高校 21 校、その他 4 校

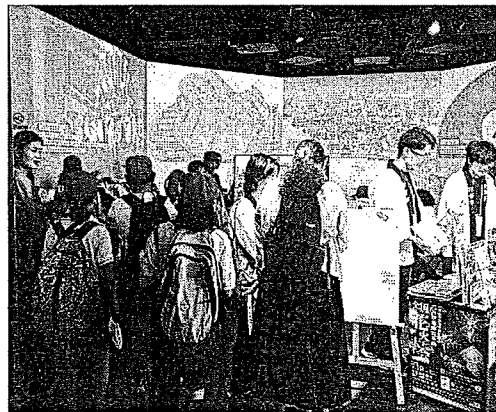
③来場児童・生徒、教員の感想（主なもの）

【万博の感想】

- ・みんなで万博に行けてめちゃくちゃうれしかったです。（小学生）
- ・外国の方たちと話することができる貴重な機会となった。（高校生）

【三重県ブースの感想】

- ・ひのきや日本酒など、より一層日本や三重の伝統を知ることができたので良い学び、良い思い出になった。（中学生）
- ・関西パビリオンで三重県が一番良かったという子どもが多く、楽しめた様子でした。（教職員）



三重県ブースを見学する児童・生徒

4 期間限定情報発信拠点「三重テラス in 大阪」について

大阪・関西万博により国内外の旅行者や関西圏居住者が大阪に集まる好機をとらえ、令和5年度から7年度にかけて、大阪府内の複数箇所に期間限定の情報発信拠点「三重テラス in 大阪」を設置し、県産品販売や食体験、観光PRなど、三重県全体の認知度向上や県産品の販路拡大、観光誘客につなげるためのプロモーションを行いました。

(1) 令和7年度の実績

令和7年度は、万博来場者が増加する会期後半の8月～10月の間に、大阪府内の計6箇所に「三重テラス in 大阪」を設置したところ、延べ1万8千人を超える方に、県産品の購入やイベントへの参加など体験いただきました。また、会場で実施したアンケート調査では、「三重テラス in 大阪」の利用により、三重県への関心が向上したと回答した人が6会場平均95%と、非常に高い結果となりました。

物販では餅関連商品や伊勢うどん等の売上が好調であったほか、お笑いコンビ「バッテリーズ」による三重県PRステージや伊賀之忍者衆「羅威堂（らいどう）」によるアクションショーといったイベントが人気を集めました。



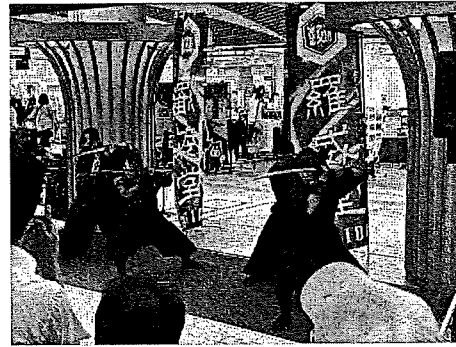
KITTE 大阪



新大阪駅



関西国際空港



なんばウォーク



MIE フェスティバル in EXPO



阪急大阪梅田駅

【参考】アンケート結果（回答数 2,231 人）

- ・来場者の 87%が三重県への来訪経験があり、そのうち 35%が過去 1 年以内に来訪
- ・三重県産品の購入意欲については、海産物（66%）や和菓子（42%）が高い
- ・三重県内でしか買えない県産品を大阪で購入できることを評価

Q 1 居住地					
関西	82.4%	東北	0.3%	北海道	0.3%
東海	4.1%	四国	1.0%	海外	0.3%
関東・甲信越	8.2%	中国	1.5%		
北陸	0.4%	九州・沖縄	1.4%		
Q 2 年齢					
10 代	2.5%	30 代	21.1%	50 代	23.8%
20 代	12.4%	40 代	21.6%	60 代以上	18.1%
				無回答	0.5%
Q 3 性別					
男性	28.2%	女性	70.9%	その他	0.8%
				無回答	0.2%
Q 4 三重県に観光・レジャー目的で行ったことはありますか？					
1 回ある		17.4%	ない		12.3%
2 回以上ある		69.3%	無回答		0.9%
Q 5 三重県に最後に行ったのはいつですか？					
1 年以内		35.1%	6 年以上前		27.7%
2 ～ 5 年以内		31.3%	無回答		5.8%
Q 6 三重テラス in 大阪を利用して、三重県にどのような感想を持ちましたか。(複数回答)					
三重県に行きたくなった		57.3%	三重県に興味があった		29.0%
三重県産品を買いたくなった		39.6%	特になし		4.7%
Q 7 普段、旅行先を検討するのに、どの媒体で情報を得ていますか？(複数回答)					
SNS (Instagram、YouTube、TikTok など)		58.4%	地域の物産展やアンテナショップ		17.3%
旅行サイト		40.7%	友人の口コミ		15.9%
テレビ番組		24.1%	その他		2.9%
旅行雑誌		19.4%	無回答		0.4%
Q 8 今後、どんな三重県産品を購入したいですか？(複数回答)					
海産物	66.1%	お茶	21.3%	伝統工芸品	13.6%
和菓子	41.5%	酒	19.4%	その他	3.5%
洋菓子	26.1%	雑貨・小物	17.1%	無回答	0.2%
肉類	22.3%	果物	13.9%		
Q 9 今後、三重県に旅行に行くならどんな体験をしたいですか？(複数回答)					
おいしいものを食べる	85.6%	伝統工芸品に触れる		8.5%	
きれいな風景・景色を見る	56.7%	海の体験 (海水浴など)		7.2%	
社寺参拝	42.0%	ドライブ・ツーリング		5.1%	
温泉に入る	28.0%	芸術鑑賞		4.6%	
テーマパークに行く	22.2%	山の体験 (ハイキングなど)		4.3%	
歴史を感じる	18.8%	その他		1.9%	
宿泊施設でゆっくりする	18.4%	無回答		0.6%	
お祭りやイベントに行く	12.1%				
Q10 本催事の感想をお聞かせください。(一部回答抜粋)					
・ 普段買えない商品が買えて良かったです					
・ 商品の数が多くて、選びがいがあります					
・ 知らない商品も多く、また三重に行きたくなりました！					

(2) 令和5～7年度の成果

3年間の取組を通し、延べ3万2千人を超える方に三重の魅力を経験いただき、「三重テラス in 大阪」の利用により「三重県に行きたくなった」「三重県産品を買いたくなった」「三重県に興味があった」のいずれかを回答された方が令和5年度の90%前後から令和7年度には95%前後になるなど、万博開催の好機を生かし、多くの方に三重の魅力をお伝えすることができました。

こうした関西圏における三重県への関心の高さを生かし、県内事業者の関西圏への販路拡大を促進してまいります。

	会場	日程	日数	魅力体験者数 (延べ)	三重県への 関心向上度
R5	道頓堀	R5. 11. 17～30	14 日間	1,128 人	86%
	梅田地下街	R6. 1. 12～28	16 日間	2,269 人	91%
	小計	-	30 日間	3,397 人	-
R6	阪急大阪梅田駅	R6. 10. 9～15	7 日間	4,547 人	95%
	新大阪駅	R6. 10. 17～29	13 日間	5,848 人	96%
	小計	-	20 日間	10,395 人	-
R7	KITTE 大阪	R7. 8. 15～17	3 日間	1,349 人	95%
	新大阪駅	R7. 8. 21～31	11 日間	5,791 人	95%
	関西国際空港	R7. 9. 1～3	3 日間	473 人	96%
	なんばウォーク	R7. 9. 3～15	13 日間	5,420 人	94%
	万博会場 (MIE フェスティバル in EXPO)	R7. 9. 22	1 日間	173 人	98%
	阪急大阪梅田駅	R7. 10. 1～7	7 日間	5,112 人	95%
	小計	-	38 日間	18,318 人	-
総計			88 日間	32,110 人	-

※魅力体験者数：県産品の購入や食体験企画、イベント参加など、「三重テラス in 大阪」の利用により、

三重の魅力を経験いただいた人数

※三重県への関心向上度：アンケートで、「三重テラス in 大阪」の利用により、「三重県に行きたくなった」

「三重県産品を買いたくなった」「三重県に興味があった」のいずれかを選択した割合

(4) 首都圏営業拠点「三重テラス」について



三重テラスの運営状況について(10月～11月)

平成25年9月のオープン以来の来館者数累計は、令和7年10月31日現在で、629万8,005人です

首都圏営業拠点「三重テラス」では、ショップ、レストラン、観光案内、コミュニティスペース(イベント・コワーキング)の機能により、三重の豊かな自然・歴史・文化・食など、様々な魅力情報を発信するとともに、首都圏と三重県の関係者が交流し、つながる場として、コミュニティ形成に取り組んでいます。

10月、11月は、市町等による魅力発信イベントが毎週開催され、主催者からは「イベントに合わせてショップやレストランで商品を販売することで、多くのお客様に好評いただき、地域の魅力を効果的に発信することができた」との声をいただきました。

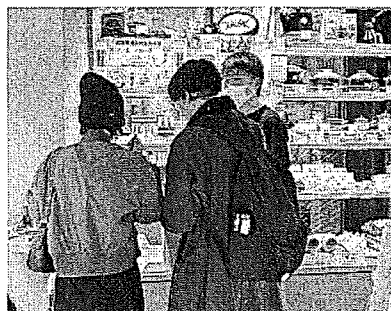
■1階ショップ

○秋に合わせたテーマで旬の商品を展開したほか、醤油・伊勢茶・かつおぶしなど、事業者が直接お客様に商品の背景やストーリーを伝える対面販売を実施しました。

○「東京大学ホームカミングデイ」や首都圏の企業が主催する「あおまる47物産展」に出展するなど、店舗以外のイベントにも積極的に参加し、首都圏における県産品の販路拡大につなげました。



「三重の秋、ご褒美グルメ」特集(10月)



伊賀市の事業者による試食販売会(10月)



東京大学ホームカミングデイ(10月)

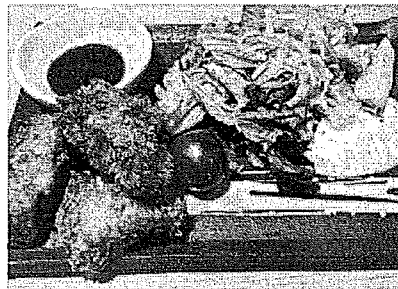
■1階レストラン

○秋鰯やきのこなど秋の食材を使用したコースメニューや、その日に入荷した県産品を使った料理長おすすめメニューを提供しました。また、県内の料理人がお客様とコミュニケーションをとりながら食の魅力を伝えるポップアップレストランを開催しました。

○「熊野古道ウィークin三重テラス」の期間中に、東紀州の特産品を使ったランチを提供するなど、2階コミュニティスペースで開催されるイベントのテーマに合わせたメニューの提供を行いました。



三重の恵みコース



料理長おすすめ日替わりメニュー
(鳥羽カキフライ)



美熊野牛を使ったランチメニュー

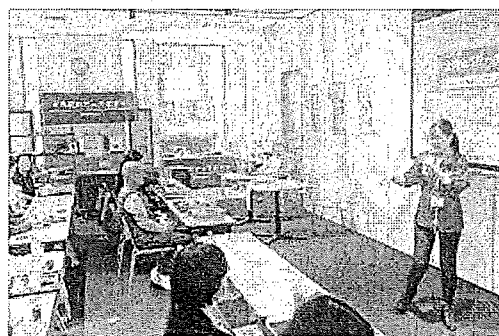
■2階コミュニティスペース

<イベント>

○市町等による、特産品販売や体験などの魅力発信イベントが開催されました。



- 四日市STYLE2025in三重テラス(10月)
 - ・四日市市のプロモーション映像の発表会や、四日市ブランドの販売を実施。



- 大紀町感謝祭(11月)
 - ・大紀町の特産品販売のほか、勾玉づくり体験やバターづくり体験を実施。



- わたらい茶会(11月)
 - ・伊賀焼の急須を使ったお茶のおいしい淹れ方講座。



- 知って東員in三重テラス(11月)
 - ・大豆や三岐鉄道など東員町のPRのほか、東員町の特産品販売やポップアップレストランを実施。

<コミュニティ形成>

○コワーキング登録者数は、2,441名(令和7年10月末時点)です。

○新たに三重テラス部活動「三重テラス音楽人(ミュージシャン)応援部」などの活動が始まったほか、「エシカルアクション部」では、尾鷲市地域おこし協力隊の方と漁業のSDGsについて語り合う活動、「紀南部」では、京都大学農村計画学研究室と熊野市新鹿の未来を考える活動を実施するなど、地域課題の解決に向けた交流をはじめ、様々な活動を行いました。

○三重県にゆかりのある首都圏在住の学生・若手社会人のコミュニティ「みえフェス」と「関東の長崎県を愛する人の会『リトルナガサキ』」が、お互いの県産品や観光地などをPRすることにより、地元愛を育むワークショップを実施しました。今後も連携して県の魅力発信に取り組んでまいります。



- 三重テラス音楽人応援部 第1回活動(10月)
 - ・三重県出身の推し音楽人の紹介をしながら交流する活動を実施。



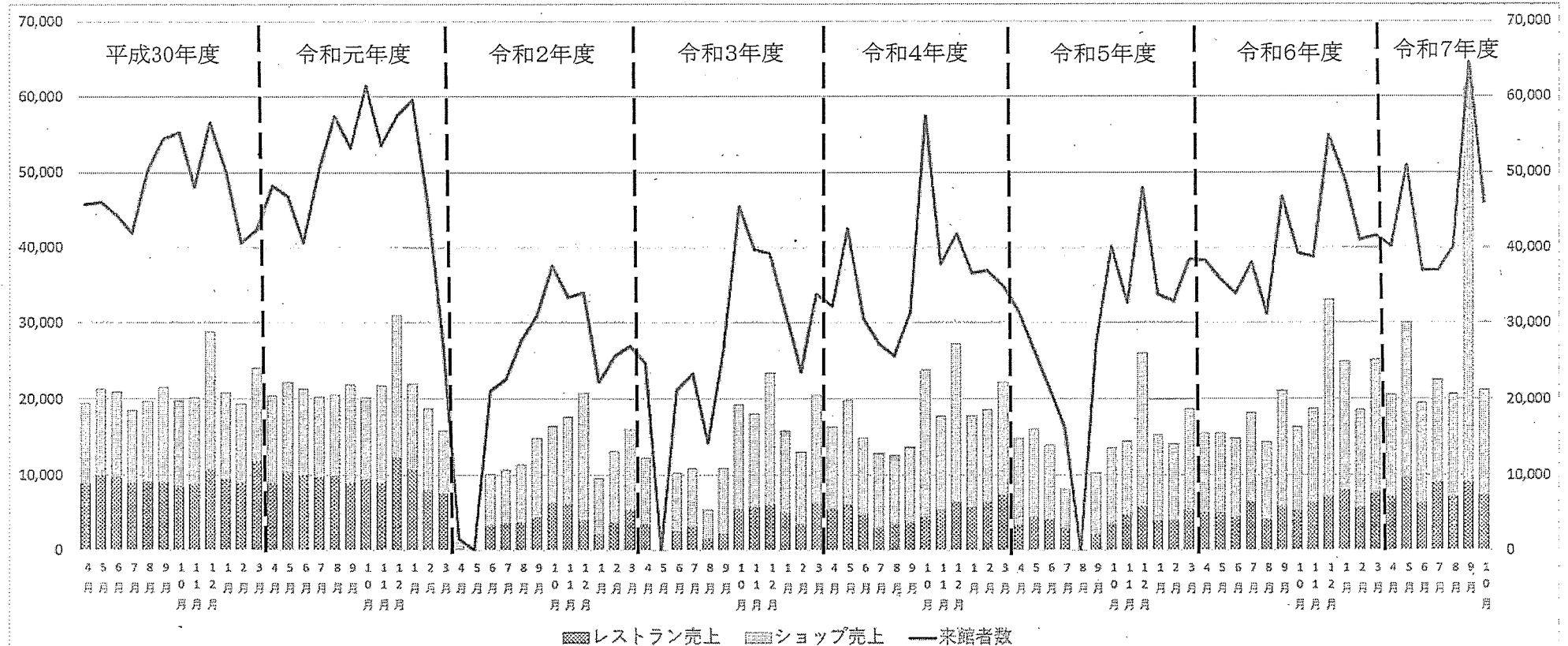
- みえフェス×リトルナガサキ 三重と長崎の「ええとこ・よかとこ」みつけ！(11月)
 - ・三重県と長崎県の魅力を紹介し交流する活動を実施。

三重テラス来館者数および売上額の推移

参考

売上額(単位:千円)

来館者数(単位:人)



第2ステージ

第3ステージ

令和7年度は、10月末時点で、来館者数、売上額ともに前年同期を上回るなど、増加傾向が続いています。
また、9月の売上額は、12周年記念感謝祭における特別販売の効果もあり、開館以来最高となりました。

- ・来館者数:前年同期比120%(ショップ120%、レストラン152%)
- ・売上額 :前年同期比169%(ショップ175%、レストラン156%)

(5) 各種審議会等の審議状況の報告について

(令和7年9月25日～令和7年11月24日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和7年9月30日(火)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか4名出席
4 諮問事項	・「(仮称)ラ・ムー川越町店」(川越町)の新設に係る届出について ・「(仮称)ニトリ鈴鹿店」(鈴鹿市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「(仮称)ラ・ムー川越町店」(川越町)の新設に係る届出について ・「(仮称)ニトリ鈴鹿店」(鈴鹿市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備考	・次回審議会は令和7年10月29日(水)に行う予定であることを確認しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和7年10月29日(水)
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之 ほか4名出席
4 諮問事項	・「ドラッグコスモス一志店」(津市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「ドラッグコスモス一志店」(津市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。
6 備考	・次回審議会は令和8年1月以降に行う予定であることを確認しました。

